

国語 一一一	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
-----------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

つぎの文の（ぶん）にあてはまること
ばを、あとの（）からえらび、かきまし
よう。

① 雨が（あめ）とふりはじめた。

② 日にちよう日は、とても（び）のんびり（ひと）とす
すことができた。

③ はさみの先は、（さき）とがって（ひと）いるので、人
にむけるとあぶない。

④ （で）とがって（みち）の道みちをあるく。

でとがってのんびり
しとしと

国語 一―二	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前 年 組 番
-----------	---------------------------	-------------------

つぎの文の（ ）にあてはまることばを、あとの からえらび かきましよう。

① こおりは（つめたい）。

② 高原は、夏でも（すずしい）。

③ 春の（あたたかい）日ひ。

④ 朝あさの空気くうきは（ひんやり）として、こころちよい。

あたたかい	ひんやり	つめたい
すずしい		

国語 一—三	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
-----------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

つぎの文の（ぶん）にあてはまること
ばを、あとの（）からえらび、かきまし
よう。

① 道が（みちかちかち）にこおる。

② （カチカチ）という時計の音が聞きこえる。

③ 川かわぎしには、石いしが（ごろごろ）ある。

④ かみなりが（ゴロゴロ）鳴なる。

かちかち	ごろごろ	カチカチ
ゴロゴロ		

国語 一—四	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
-----------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

つぎの文の（ぶん）にあてはまること
ばを、あとの（）からえらび、かきまし
よう。

- ① にもつを（ばんばん）につめる。
- ② 手てを（パンパン）とたたく。
- ③ ゆかを（つるつる）にみがく。
- ④ うどんを（ツルツル）と食たべる。

ばんばん ツルツル	つるつる	パンパン
--------------	------	------

第一学年及び第二学年の内容
いろいろな言葉①

名前

年

組

番

取り組んだ日

月

日

つぎの文の（ぶん）にあてはまること
ばを、あとの（）からえらび、かきまし
よう。

① 星が（ほし）（**きらきら**）（ひか）光る。

② 太陽が（たいよう）（**ぎらぎら**）（てりかえす）てりかえす。

③ 風で戸が（かぜ）（**カタカタ**）（とゆれる）とゆれる。

④ 台風でまどが（たいふう）（**ガタガタ**）（とゆれる）とゆれる。

ガタガタ ぎらぎら カタカタ
きらきら

国語 一六	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
----------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

つぎの文の（ぶん）にあてはまること
ばを、あとの（）からえらび、かきまし
よう。

① りんごを（どつさり）もらった。

② （ゆめみたいな）話で、しんじられな
い。はなし

③ （ほかほか）したごはんは、おいしい。

④ なみだが（じわじわ）とあふれ出す。だ

ほかほか	じわじわ	どつさり
ゆめみたいな		

国語 一七	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前 年 組 番
----------	---------------------------	-------------------

つぎの文の（ ）にあてはまること
ばを、あとの（ ）からえらび、かきまし
よう。

① かれは（もくもく）とそうじをしている。

② 妹いもむすこのせが（ぐんぐん）のびる。

③ さむさむで、体からだが（ぶるぶる）ふるえる。

④ やきいもは（ほくほく）して、おいしい。

ぶるぶる	もくもく	ほくほく
ぐんぐん		

国語 一八	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
----------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

つぎの文の（ぶん）にあてはまること
ばを、あとの からえらび、かきまし
よう。

① 風船が（ふうせんふわふわ）と空を（そらとぶ）。

② 親友が（しんゆうひまわりのような）えがおを見（み）
せた。

③ かれは（りっぱな）ひとがらである。

④ きやくに（とげとげしい）たいどをとる
ことは、しつれいだ。

とげとげしい りっぱな ひまわりのような ふわふわ

国語 一一九	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
-----------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

つぎの文の（ ）にあてはまること
ばを、あとの（ ）からえらび、かきまし
よう。

① 公園を（ぶらぶら）歩く。

② 雨が（はげしく）ふってきた。

③ 通りすがりに（ちらりと）見る。

④ パンが（ふんわり）やきあがる。

はげしく
ぶらぶら
ふんわり
ちらりと

国語 一—十	第一学年及び第二学年の内容 いろいろな言葉①	名前 なまえ	年 ねん	組 ぐみ	番 ばん
-----------	---------------------------	-----------	---------	---------	---------

つぎの文の（ぶん）にあてはまること
ばを、あとの（）からえらび、かきまし
よう。

① ろうかを（ドタドタ）はし走り、ちゅういを
うけた。

② 雨あめにぬれて、体からだが（ぞくぞく）する。
③ せきが（コンコン）とでるので、びよう
いんへ行いこうと思おもう。

④ ひよこが（ピヨピヨ）となく。

コンコン	ピヨピヨ	ドタドタ
ぞくぞく		